

静 岡県熱海市で、7月3日、土砂災害が発生し甚大な被害をもたらしました。非常時に、冷静な判断・行動ができるよう、避難・災害情報などを自ら収集できるようにしておくこと、そして、今すぐハザードマップで土砂災害や浸水のおそれがないかを確認し、避難行動のシミュレーションを始めてください。

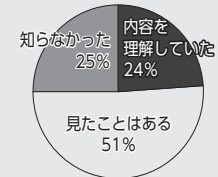
☎ 危機管理室 ☎ 63-7271

市内4地域で更新！ 鴻之台・希央台、美旗、すずらん台、桔梗が丘

台風や豪雨に備え、ハザードマップで危険箇所を再確認

「平成30年7月豪雨」被災者アンケートより

「ハザードマップの存在」を知っていたのは75%。しかし、内容まで理解していたのは24%



被災した自治体の全てで、ハザードマップは公表され各戸配布されていました。しかし、洪水や浸水、土砂災害が起きそうなところの確認、避難行動などを事前に家族などで話し合っておかなかったことが、被害を大きくした一因と考えられます。

●「避難指示」(警戒レベル4)が発令されたら、危険な場所にいる人は必ず避難を。

自治体が出す「避難勧告」と「避難指示」は、5月20日以降「避難指示」に一本化されました。

ハザードマップは、洪水や土砂災害が起きたとき、どこが危険かを予測した地図です。「災害のおそれがある区域」のほか、「避難時の心得」「避難場所」「情報収集方法」なども掲載。市ホームページからご覧いただけます。

今年4月には、市内4地域(鴻之台・希央台地域、美旗地域、すずらん台地域、桔梗が丘地域)で、ハザードマップを更新しました(各世帯に配布済)。他地域は、災害予測区域に変更がありませんので、お手持ちのハザードマップを継続して活用してください。

① 自分の家をハザードマップで確認

- 土砂災害警戒区域内
- 土砂災害特別警戒区域内
- 洪水浸水想定区域内(浸水 m)

② 避難する先は？

- 安全な親戚や知人宅へ避難
- 指定避難所へ避難
- 自宅にとどまり安全確保、食糧や水など備えは十分か(ただし、必要に応じて避難)

③ 避難先へ到着するまでの危険な場所(河川や崖など)は？

詳しくは、市HPや広報6-1号をご覧ください



この夏、名張の歴史や文化に触れてみませんか？

「なばり学」をテーマに自由研究するためのヒントを伝授します

「なばり学」を自由研究のテーマにした小学3年～中学3年までの児童生徒を対象に、相談会を開催します。
 日時 8月7日(土)～9日(月・休) 午後1時～4時
 場所 郷土資料館(安部田)
 申込 7月29日(金)までに、希望日時と研究内容を問合せ先へ ※保護者同伴可

☎ 教育センター 学校ボランティア室 ☎ 64-8864 FAX 64-8802
 ✉ minakuru01@nabari-mie.ed.jp

新たな発見や見どころをお伝え 生涯学習講座「名張藤堂家邸の今」

日時 8月21日(土) 午後2時～3時30分
 場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)
 講師 門田 了三(郷土資料館職員)
 定員 80人 ※先着順、参加無料
 申込 7月26日(金)～8月13日(金)に、住所、氏名、連絡先、「名張藤堂家邸の今」を記し、ファクス・電子メールで問合せ先へ ※電話でも受付

☎ 文化生涯学習室 ☎ 63-7892 FAX 63-9848
 ✉ syougaku@city.nabari.mie.jp



自転車、徒歩、公共交通機関で移動する

家庭から排出される二酸化炭素(CO2)の2割超が「自動車」から。移動手段を工夫してCO2排出を抑えよう。



買い物は地元で

地元のお店で買う、地元の食材などを積極的に選ぶ。地元の農家や企業の雇用を守り、輸送コストも抑えます。



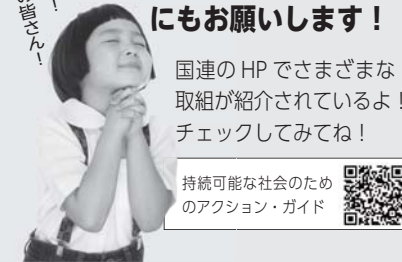
食べ物を大切に

まだ食べられるのに捨てられる食品は、国内で年間約600万トン。国民1人が毎日お茶碗1杯分のご飯を捨てているのと同じ量。食べ切れるだけ調理するなど、無駄を防ぐ工夫を。

私たちの未来のためにもお願いします！

国連のHPでさまざまな取組が紹介されているよ！チェックしてみよう！

持続可能な社会のためのアクション・ガイド



SDGs

(Sustainable Development Goals / 持続可能な開発目標)

SDGs

未来はこうありたい！
 を実現するための17の目標



いっぺん、真剣に名張の未来のこと考えよう！

SDGs ナバリミライ

～持続可能な名張の未来をデザインしよう～

「住み続けたい名張」「住み続けられる名張」にするためにはどうしたらいいか、SDGsの目標の中から社会・環境・経済の3つのテーマについて、参加者みんなで考え、名張の未来を創造するワークショップです。

Part 1 SDGs de 地方創生カードゲーム / 9月25日(土) 午前9時～正午

SDGsの17の目標を達成するために、現在から2030年までの道のりをゲームで体験。楽しみながらSDGsの本質を理解することができます。今回のテーマである「社会・環境・経済」を充実させながら、暮らしよい名張を目指すゲームです。

Part 2 ワークショップ「社会」 / 9月25日(土) 午後1時30分～4時30分

テーマ「誰もが生きやすいまち 名張を考える」～「誰も」の中にはあなたも含まれています～
 話題提供/多文化共生センター、人権・男女共同参画推進室

Part 3 ワークショップ「環境」 / 10月9日(土) 午後1時30分～4時30分

テーマ「人・社会・地球にやさしく生きる」～ムダをなくして賢く暮らそう～
 話題提供/イナバリ株式会社、学校給食関係者、市民相談室
 テーマ「最新のテクノロジーの追求と自然との共生」～地元企業に学ぶ～
 話題提供/オキツモ株式会社、環境対策室

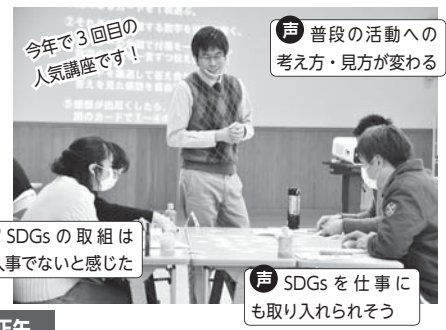
Part 4 ワークショップ「経済」 / 10月23日(土) 午後1時30分～4時30分

テーマ「働き方って一つじゃないよ」～地域で働く、地域資源を活かして働く～
 話題提供/一般社団法人滝川 YORIAL、地域おこし協力隊、地域経営室
 テーマ「必要とされ続ける企業とは」～人間らしい働き方と企業の持続可能な経済成長の両立～
 話題提供/名張近鉄バス株式会社、商工経済室

そもそもSDGsって何なん？

「将来にわたって、すべての人が豊かで、幸せであり続けていく」ために、自然環境の汚染や破壊、経済成長による格差の広がり、不平等など、世界には解決すべき多くの課題があります。

こうした課題を乗り越えていくために、国連で採択されたのが17の目標です。これは、加盟国193カ国が全会一致で採択した「世界の約束」でもあり、2030年の実現を目指しています。



今年で3回目の人気講座です！
 声 普段の活動への考え方・見方が変わる
 声 SDGsの取組は他人事でないと感じた
 声 SDGsを仕事にも取り入れられそう

場所 防災センター(鴻之台1)
 進行 米山 哲司さん(NPO法人Mブリッジ代表理事)

定員 32人 ※参加無料。先着順
 申込 電子メール、電話、ファクスで、名前・連絡先・参加希望日時・所属団体(あれば)を問合せ先へ
 ◎関心のある回だけの参加も可能です。

☎ 市民活動支援センター ☎ 63-5325 FAX 63-5326
 ✉ j-kouryu@emachi-nabari.jp

大自然の中でSDGsを体感できるんやって！

デイキャンプで竹ご飯を炊いてみよう

～なばり竹あかりSDGsプロジェクト～

火起こし体験や、手作りの竹筒でご飯を炊いてみよう！竹の活用からSDGsを体感できる素敵な一日に！

日時 8月18日(水) 午前9時30分～午後2時
 場所 赤目四十八滝キャンプ場 対象 小学生と保護者
 定員 10組(1組2人) ※申込多数の場合は抽選
 参加費 1組1,000円(食材、保険代、キャンプ場使用料込)
 持ち物 カッターナイフ、のこぎり(あれば)
 申込 8月5日(金)までに、電子メール(akame-ko@emachi-nabari.jp)で問合せ先へ

☎ 赤目市民センター ☎ 63-0329

放置すると山を荒らしてしまう竹。市と、市エコツーリズム推進協議会は、「なばり竹あかりSDGsプロジェクト」として、放置竹林の間伐材を再利用し、資源として活用していく取組を進めています。



おもしろそうやん！SDGsを学ぶ・感じる2つの催し！



赤目青年会 龍野 真治さん